

## JAグループの「不断の自己改革」の実践に関する特別決議

平成26年以降、JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」という基本目標の実現に向けて、創造的自己改革の実践に全力で取り組んできた。

全国のJA・連合会では、組合員との徹底した話し合いをふまえて創意工夫ある取り組みを実践し、多くの実績・成果を積み重ねてきた。そして「JAの自己改革に関する組合員調査」においても、多くの組合員から総合事業を通じた自己改革への評価と期待の声をいただいた。

しかし、改正農協法5年後の検討を目前に控え、コロナ禍や人口減少等の農業・地域・JA経営の厳しい状況をふまえ、これまで以上に正・准組合員の声を真摯に聴き、丁寧な対話を積み重ね、組合員の負託に応え一層の事業モデルの変革や経営基盤の強化など、基本目標の実現に向けた取り組みを持続していかなければならない。

自己改革に終わりはない。

今後ともJAグループが組合員の声をふまえた「不断の自己改革」を通じて、農業・地域の展望を力強く切り拓き、組合員と地域にとってなくてはならない組織であり続けるため、下記の事項に取り組む。

### 記

1. 今後とも、組合員との徹底した対話に基づき、総合事業と協同活動を通じて、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標の実現に向けた「不断の自己改革」に全力で取り組む。
2. 「不断の自己改革」を支えるため、持続可能なJA経営基盤の確立・強化に取り組む。

以上、決議する。

令和3年3月5日  
一般社団法人全国農業協同組合中央会  
臨時総会